

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

定額による減価償却を実施している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現 金 預 金	29,236,388	22,813,171
合 計	29,236,388	22,813,171
預 り 金	960,508	858,106
合 計	960,508	858,106
次期繰越収支差額	28,275,880	21,955,065

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	4,288,715	2,474,970	1,813,745
合 計	4,288,715	2,474,970	1,813,745

(単位:円)

区 分	前期末残高	当期末残高
敷 金	13,000	13,000
合 計	13,000	13,000